

【統計・情報論】 鳥居 鉦太郎 ゼミ



スタジオにおける動画収録実習(2014年)



国内合宿(2017年)

演習テーマ： 経済社会の基盤である情報技術を学ぶ

「ツムツム」や「ポケモン GO」、あるいは自動運転、仮想通貨や人工知能(AI)など、高度な情報技術が私たちの生活でどんどん活用されています。こうした機能は、現在のところ「ソフトウェア」と総称されるもので実現されています。したがって、ソフトウェアの仕組みを知ることは、現代社会の基盤となっている情報技術の実態や課題を把握するのに必須の事項であると思われます。本演習ではこうした点をふまえ、ソフトウェアを中心に幅広く情報技術の仕組みを学びます。

<活動内容>

演習1 PC やスマートフォン等で毎日のように利用している人が多いWebシステムについて、それがどのように構築されているのか、実際にソフトウェアで構築し動作を体験します。具体的には、大学のPCでPHP やMySQLといった道具を用いて、データや命令を記述していきます。これはWebシステムの作られ方を知ることにより、社会のどんな業務も、応用して深くとらえられる感性を目指すためです。そして仕事の基本として処理される情報の特徴や問題点を自身で考えられるようになり、業務をさらに進化させていける素養へとつなげる学習をします。

演習2 ソフトウェア開発でとてもよく利用されているC言語を用いて、プログラミングの基礎を学びます。演習1と同様に情報というものの扱い方や性質をとらえていきますが、重要な点として「論理的な思考方法」を学べるのが挙げられます。いまのところ、コンピューターは論理的に構築され論理的に動作するように出来ています。したがってソフトウェアを学ぶことは、「課題をいかに論理的にまとめて解決していくか」という力をつけるのに適しています。このことは、ローカルであれグローバルであれ、社会で活躍する際にとっても大事な素養となります。

<ゼミ紹介>

2017年度新規開講のゼミです。履修にあたって専門の知識は全く必要ありませんが、宿題・課題は多くなると思います。ソフトウェアの理解や構築に主な時間をかけますが、その他情報技術に関することを適宜ゼミに取り入れていきます。過去の例だと、上の写真にあるようなスタジオ動画収録。各自が皆に紹介したいソフトウェアを、動画とナレーションで解説する作品を作りました。右の写真は国内合宿の様様。ビジネスプロジェクト・コンテスト応募に向けて議論しているところです。ゼミ連の行事や国内・外の研修は、皆さんと相談のうえ実施していきます。

不明な点や質問は ktorii@tamacc.chuo-u.ac.jp まで気軽にどうぞ。